

平成31年度

実践に活かせる技能をマスター! アグリチャレンジ科(公共職業訓練)



- ★農業に従事するには、まず第一に、基本的な知識と技能を身に付けるための研修の受講をお勧めします。
- ★鳥取県立農業大学校では、鳥取県で新たに農業を志す方のために、**就農に役立つ基礎+実践力の習得**ができる「アグリチャレンジ科」を運営しています（産業人材育成センター倉吉校委託訓練）。
- ★**農業法人等への就職を希望する方**におすすめのプログラムです！

☆ 研修の特徴 ☆

- その1 **約4ヶ月間**で、農業の基礎知識と実践技能の基本を習得できます！
- その2 雇用保険を受給しながら受講できる「公共職業訓練」です！
(雇用保険受給対象外の方も、要件を満たせば、その他交付金等の給付措置が講じられます。)
- その3 専任の職員が、研修期間を通じて進路相談に応じていきます！



<問い合わせ先>鳥取県立農業大学校



住所 鳥取県倉吉市関金町大鳥居 1 2 3 8



電話 0 8 5 8 - 4 5 - 2 4 1 1



FAX 0 8 5 8 - 4 5 - 2 4 1 2



URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>

詳しくは裏面へ

区 分	内 容
対象者	鳥取県内での就農（農業法人等への就職など）をめざす方 前提 求職者で公共職業安定所長の受講指示、受講推薦又は支援指示が得られる方
研修の特徴	○基礎知識と実践に活かせる基本技能、各種品目の栽培管理の基礎を学ぶプログラム ○特に技能習得を重視し、6割の研修時間を技能演習で構成 ○農家の言葉を理解し、1人でも基本的な機械・農具の扱いができるレベル到達を目標 ○研修終了後の就職先に関する情報提供等、進路選択のサポートを実施 ※雇用保険受給資格者で一定の条件を満たす方は、給付延長の場合あり ※雇用保険受給者以外には、職業訓練受講給付金、訓練手当、就農研修交付金等の給付措置あり（支給には、それぞれ要件があります）
研修期間	約4ヶ月間 ①6月開講：平成31年6月14日（金）～9月30日（月） ②10月開講：平成31年10月9日（水）～平成32年1月23日（木） ③2月開講：平成32年2月6日（木）～5月21日（木）
受講場所	鳥取県立農業大学校
受講料等	無料（別途、訓練生総合保険料が必要）
カリキュラム （案）	①座学講義（鳥取県農業の概要、植物生理、病害虫の基礎、農薬の基礎、肥料の基礎、土壌の基礎、鳥獣害対策、作物栽培、有機・特別栽培、畜産概論、農業経営、農業気象、体のメンテナンス方法、各種支援策等） ②技能演習 ア 機械関連 トラクターの操作と耕耘、作業機の脱着とロータリー爪交換の方法、刈払機の取扱い、管理機の取扱い、フォークリフトの操作、農業機械全般の保守点検方法、燃料の基礎 イ 小農具の扱い方 スコップ・鍬・レーキ等の使い方 ウ 肥料・薬剤散布のポイント 肥料の手散布の方法、農薬の薬剤量と散布量、散布用機械の取扱い エ 応用作業 ロープワーク、木工・溶接、刃研ぎ、定規縄作り、針金の扱い、パイプハウス測量・組立・被覆・解体、フラワーネットの設置・解体、かん水チューブの設置 ③栽培管理実習（果樹、野菜、花き、作物、畜産）
募集期間 （予定）	①6月開講：平成31年4月10日（火）～5月15日（水） ②10月開講：平成31年8月2日（金）～9月6日（金） ③2月開講：平成31年12月4日（水）～平成32年1月8日（水）
募集定員	1期あたり25名
応募方法	県内住所を管轄するハローワークに入校願書を提出 （※県外在住の方も、住所を所管するハローワークに提出いただけます）
選考方法	面接による選考（選考場所：鳥取県立農業大学校）
その他	①募集要項は、各募集期間が近づきましたら、鳥取県立産業人材育成センター倉吉校ホームページ（ http://www.pref.tottori.lg.jp/sanjinsenkurayoshi/ ）に掲載されます。 ②入校願書は、県内ハローワーク又は鳥取県立産業人材育成センター倉吉校のホームページから入手いただけます。 ③入校選考合格者を対象に、鳥取県立農業大学校にて入校説明会を開催します。 ④応募前に学校見学にお越しいただくことをお勧めします。随時お受けしますので、本校まであらかじめ御連絡ください。